

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月20日更新

事務事業名		防災意識啓発事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	15	防災対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	鶴田 裕之
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	交通防災班	(内線)	1243
予算科目	会計一般	9	1	4	10014	根拠法令	災害対策基本法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に広く、防災の重要性を理解してもらい、自ら防災に関する行動ができるよう、啓発する事業である。災害に強いまちづくりを進めるため、災害時に市民一人ひとりが適切な行動をとれるよう、日頃からの心構えを醸成する。</li> <li>現在は、自主防災組織の設立に力を入れている</li> <li>年に1回総合防災訓練を実施している。</li> <li>各地区への防災出前講話の実施</li> <li>H30年度、H31年度(令和元年度)において職員研修を実施し、市内86区の地区防災計画書策定事業を実施した。作成進捗状況は令和2年4月現在で86区中、57区(66%)となっている。</li> </ul>
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>①防災訓練の実施 ②住民への講話</li> </ul>
【主な予算費目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員手当、旅費、需用費(消耗品費)、負担金</li> </ul>
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	市総合防災訓練を実施した。【基準に達しなかった理由】新型コロナウイルス感染症の影響で、市総合防災訓練を規模縮小し実施した為、負担金の戻入があり執行率が低かった。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識高揚のため、防災訓練等を実施し啓発に努める。</li> <li>自主防災組織の研修会を開催する。</li> </ul>
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回	予算の主な増減の理由
→ア: 防災訓練の実施回数	回	地区防災計画書策定に伴う職員研修の2年間の事業期間が終了したことによる職員手当の減
イ: 自主防災組織設立説明会の実施回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民		→ア: 市民 (単位)人
		→イ: (単位)人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・災害の恐ろしさを認識し、防災力(防災に対する知識と対応能力)を高める。		→ア: 防災訓練参加者数 (単位)人
		→イ: (単位)人
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民等の防災意識の高さを確認する</li> <li>市総合防災訓練の対象地域人口の2割を目標値とする</li> </ul>		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込	
① 活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ 回		0	0	3	0	3	3	3	3	
② 対象指標	ア 人		62,343	62,707	62,500	63,067	63,000	63,500	64,000	64,500	
	イ 人										
③ 成果指標	ア 人		4,290	6,000	4,000	2,500	4,000	4,000	4,000	4,000	
	イ 人										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	378	367	400	141	400			
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	797	1,681	636	249	270	679	680	680
		(A) 事業費計	千円	1,175	2,048	1,036	390	670	679	680	680
		(A)のうち指定経費	千円	1,117	1,844	965	324	599	400	471	471
		(A)のうち時間外、特勤	千円	739	1,477	565	183	199	205	210	210
		正規職員従事人数	人	28	56	4	49	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	1,229	1,611	600	1,437	600	600	600	600		
(B) 人件費計	千円	4,844	6,384	2,390	5,666	2,390	2,390	2,390	2,390		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,019	8,432	3,426	6,056	3,060	3,069	3,070	3,070		

事務事業名	防災意識啓発事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は 2年度 の事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 市総合防災訓練には当日の早朝から、多くの住民が避難訓練に参加され、防災に対する意識の高揚が見受けられた。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 防災に関する啓発を繰り返し、訓練参加を促すことで、向上の余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 主に防災訓練にかかる経費のみであり削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 啓発に要する事務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民へ参加を呼びかけており、また、すべての市民が災害発生時に正しく行動することが必要であるため、本事業を実施することは、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市民を対象としての防災訓練及び啓発であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

当日の早朝から、多くの住民が避難訓練に参加され、防災に対する意識の高揚が見受けられた。各種訓練で特に救急救命訓練では、熱心に耳を傾ける参加者が多くみられた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 防災に関する啓発を繰り返し、訓練参加を促すことで、向上の余地がある。																						